



株式会社エディオン 2024年3月期 決算説明会

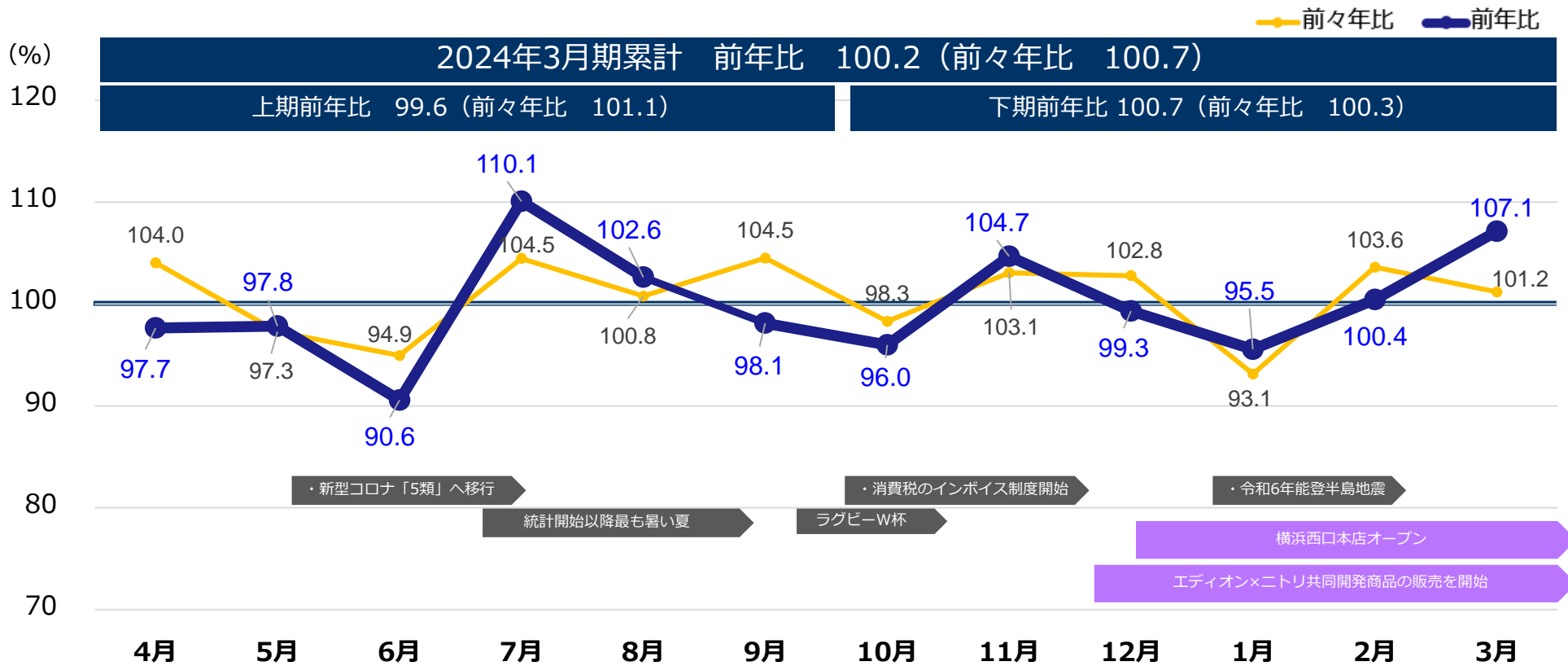
2024年5月10日

1. 2024年3月期 実績報告
2. 2025年3月期 業績予想
3. トピックス

1. 2024年3月期 実績報告

2024年3月期振り返り

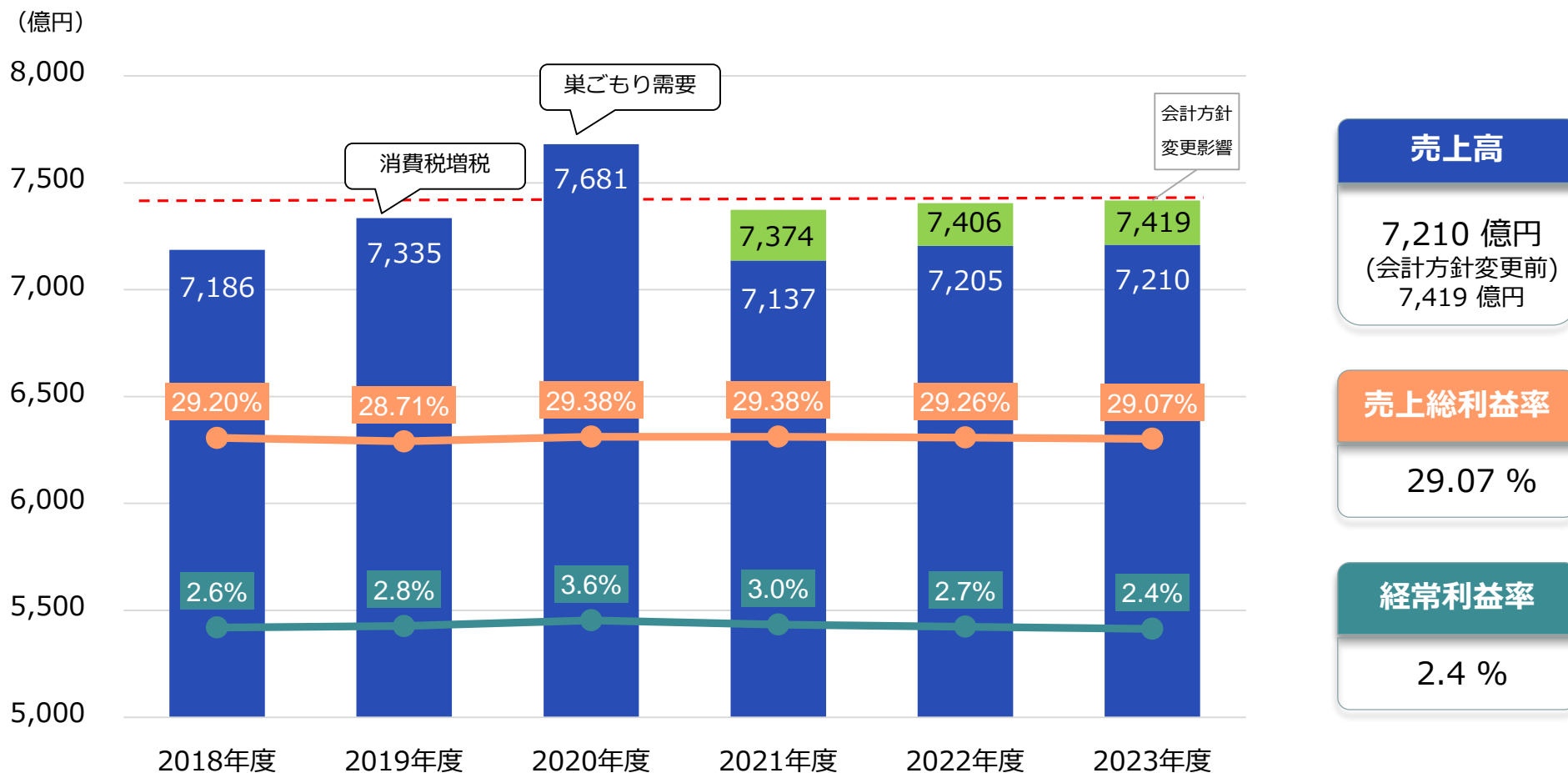
※全店前年比（POS受注ベース）



総 評

- ・第1四半期 前年比 95.0% 中国などのロックダウンの影響から季節商品が早く動いた前年と比べハードルはやや高く前年を割りました
 - ・第2四半期 前年比 103.8% 過去にない異例の猛暑の影響で特に7月度を中心にエアコンが好調に推移しました
 - ・第3四半期 前年比 100.0% 暖冬の影響もあり暖房商品が苦戦しましたが、携帯電話の駆け込み需要とゲーム・玩具など好調に推移しました
 - ・第4四半期 前年比 101.4% 3月に入り新生活需要や季節商品・リフォームなどが好調で全体を牽引しました
- 前年ハードルが高い第1四半期を除き前年以上をキープできました 下期には関東戦略の重要な大型店「横浜西口本店」がオープンいたしました

百万円・%	2023年3月期 累計			2024年3月期 累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高	100.0	720,584	101.0	100.0	721,085	100.1	501
売上総利益	29.26	210,876	100.6	29.07	209,586	99.4	△1,290
販売管理費	26.6	191,690	100.4	26.7	192,656	100.5	965
広告宣伝費・販売費	6.4	46,157	98.7	6.5	46,945	101.7	787
人件費	11.0	79,292	99.3	11.0	78,980	99.6	△311
設備費・その他管理費	7.7	55,375	105.4	7.8	55,945	101.0	570
減価償却費	1.5	10,865	92.9	1.5	10,784	99.3	△80
営業利益	2.7	19,186	102.1	2.4	16,929	88.2	△2,256
営業外収益	0.2	1,559	40.2	0.2	1,562	100.2	3
営業外費用	0.2	1,496	137.6	0.2	1,153	77.0	△343
経常利益	2.7	19,248	89.2	2.4	17,339	90.1	△1,909
特別利益	0.1	531	168.3	0.0	200	37.7	△331
特別損失	0.4	2,878	134.5	0.5	3,248	112.9	370
税金等調整前当期純利益	2.3	16,901	85.5	2.0	14,290	84.6	△2,610
法人税等合計	0.8	5,508	82.8	0.7	5,341	97.0	△166
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	—	—	0.0	△72	—	△72
親会社株主に帰属する当期純利益	1.6	11,393	86.9	1.3	9,021	79.2	△2,371



売上高

7,210 億円
(会計方針変更前)
7,419 億円

売上総利益率

29.07 %

経常利益率

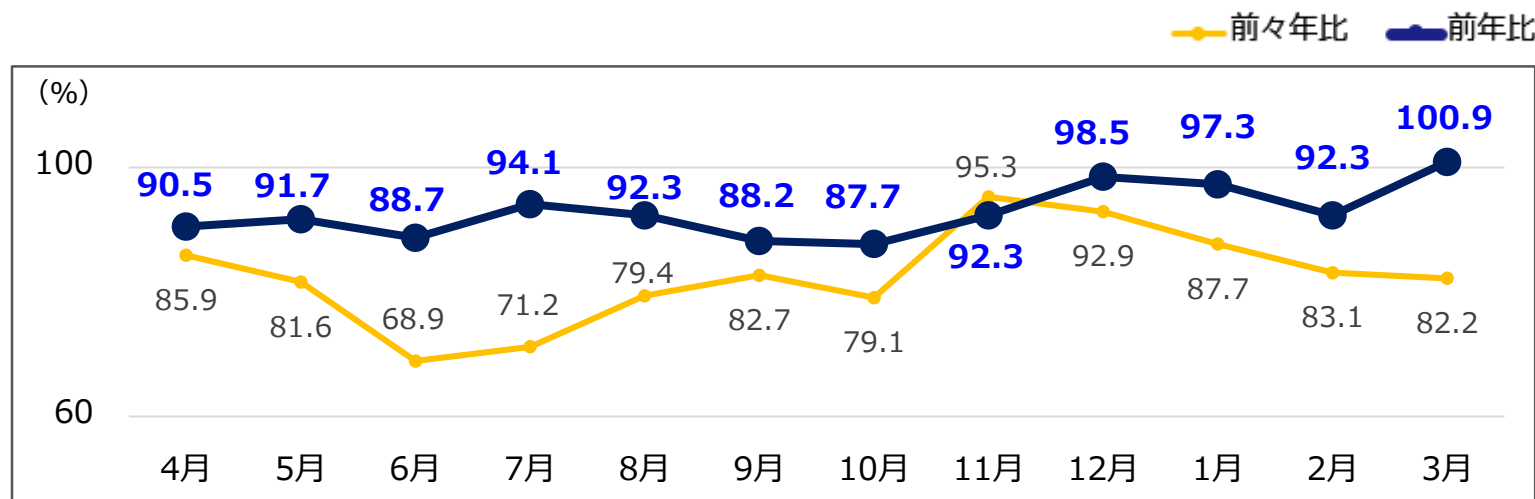
2.4 %

- 売上高 ほぼ前年並み 消費税増税年度（2019）と比較すると伸長
- 売上総利益率 当期 29.07% 前期 29.26% △0.19%減少
- 経常利益率 当期 2.4% 前期 2.7% △0.3%

主要商品別の状況① 商品別受注前年比 (POSベース)

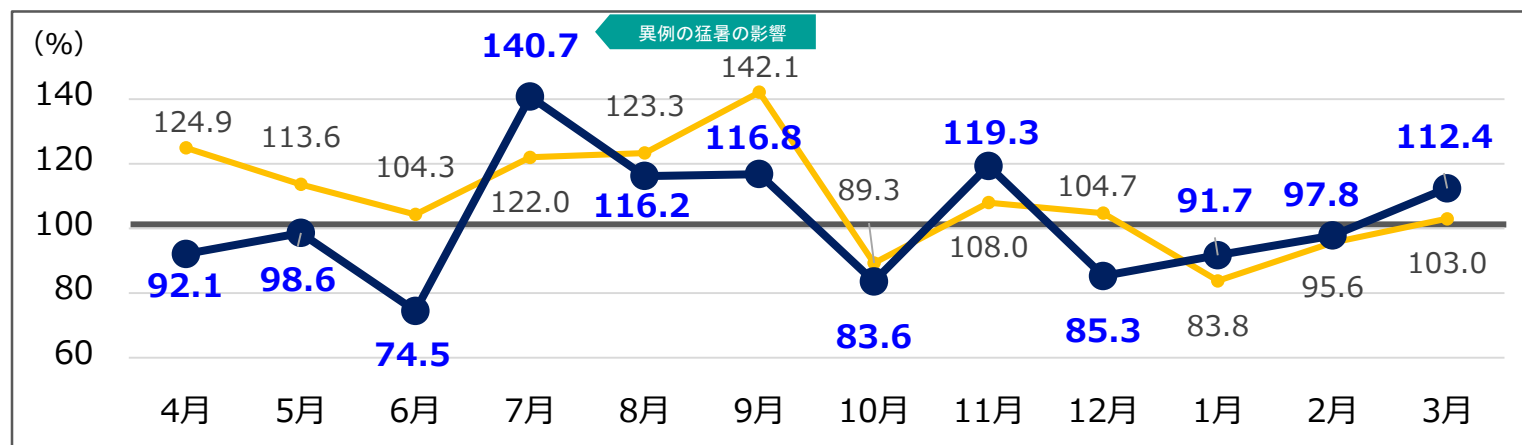
テレビ

年度累計
前年比 93.2
(前々年比 82.3)



エアコン

年度累計
前年比 103.2
(前々年比 111.8)



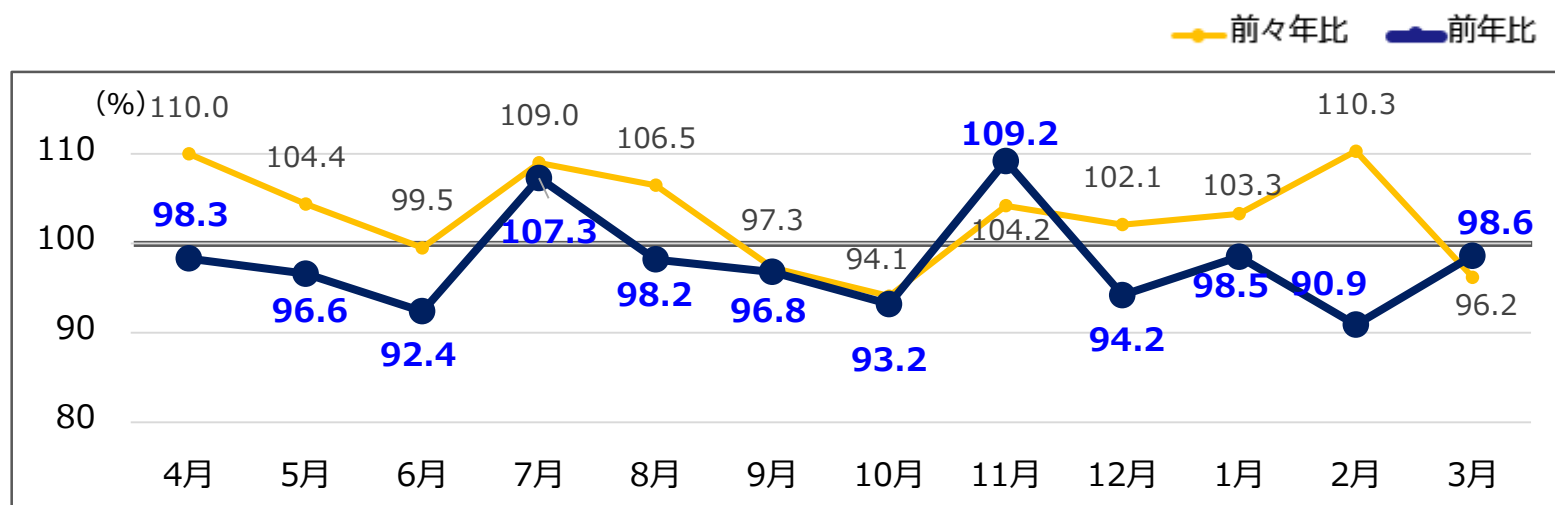
テレビ : 年間通じて前年を割る時期が続いたが下期に入り底打ち感が強まり、3月度は前年を上回る結果となった

エアコン : 上期は猛暑の影響で7月は大きく伸長。下期に入り暖冬の影響で伸び悩んだが後半に回復した

主要商品別の状況② 商品別受注前年比 (POSベース)

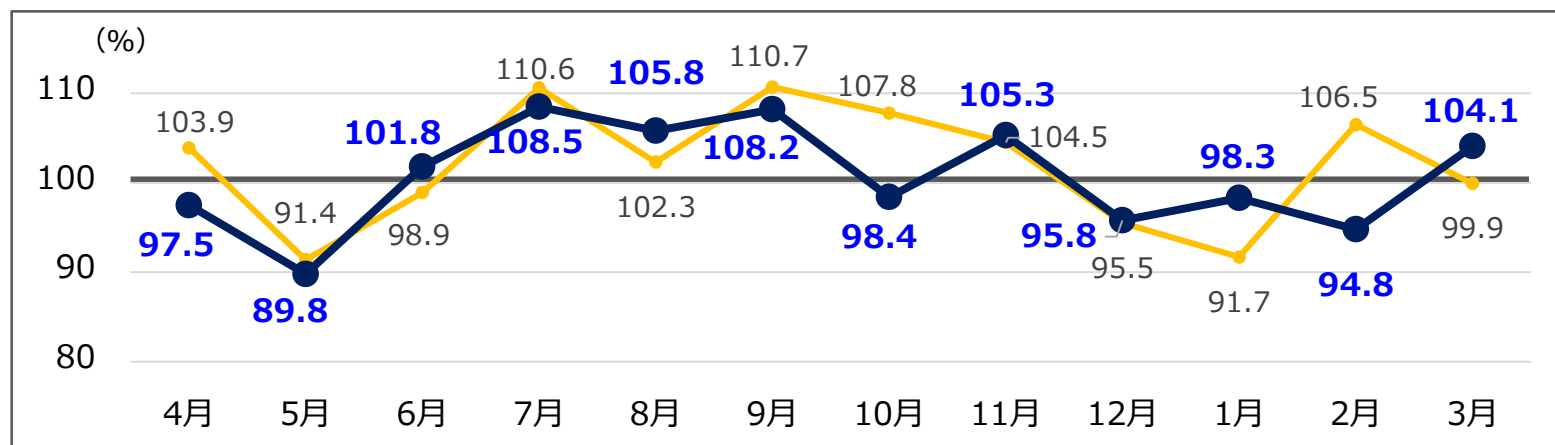
冷蔵庫

年度累計
前年比 98.0
(前々年比 102.9)



洗濯機

年度累計
前年比 100.8
(前々年比 101.7)



冷蔵庫：単価上昇の影響もあり、400L台の中型モデルの構成が高まった 新生活需要で堅調

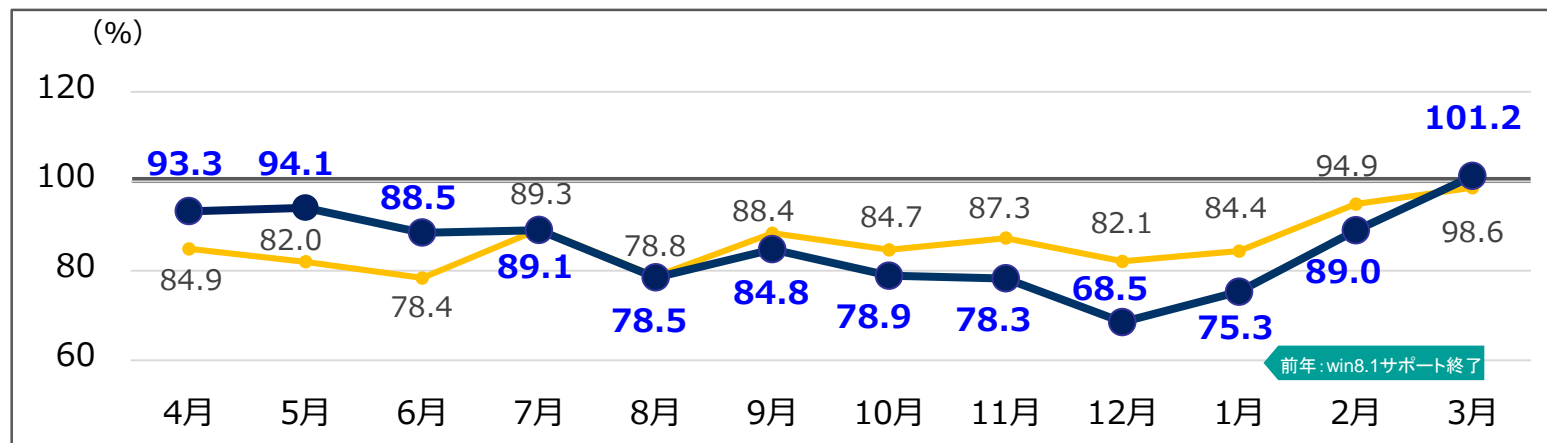
洗濯機：ドラム型や大容量縦型洗濯乾燥機など、高機能モデルの売れ行きが引き続き好調

主要商品別の状況③ 商品別受注前年比 (POSベース)

— 前々年比 — 前年比

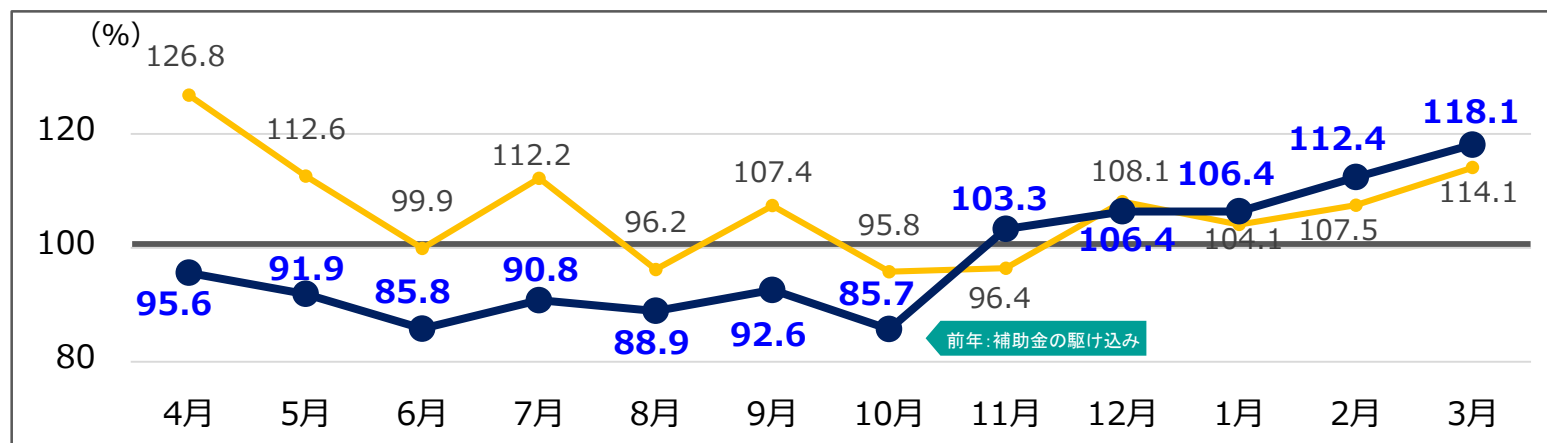
パソコン

年度累計
前年比 85.4
(前々年比 87.3)



リフォーム (ELS)

年度累計
前年比 97.9
(前々年比 106.3)



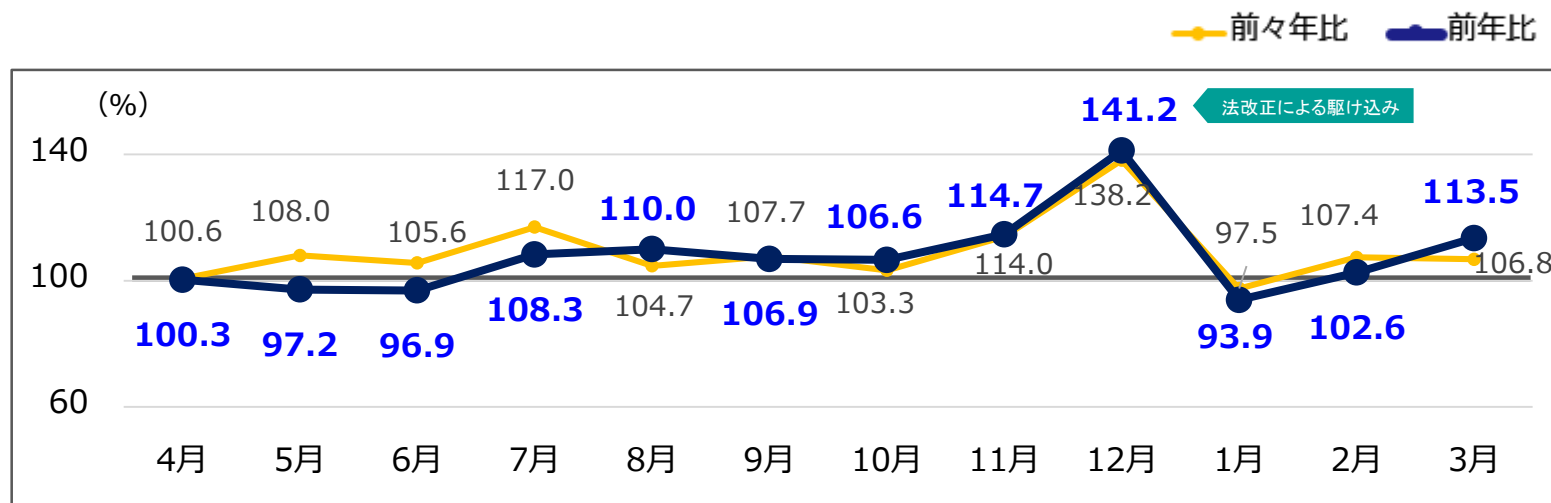
パソコン : 前年1月のWindows8.1サポート終了による需要増加もあり低調に推移した

リフォーム : 前年は補助金の影響で駆け込みが発生し前年ハードルがあったが11月以降は好調に推移

主要商品別の状況④ 商品別受注前年比 (POSベース)

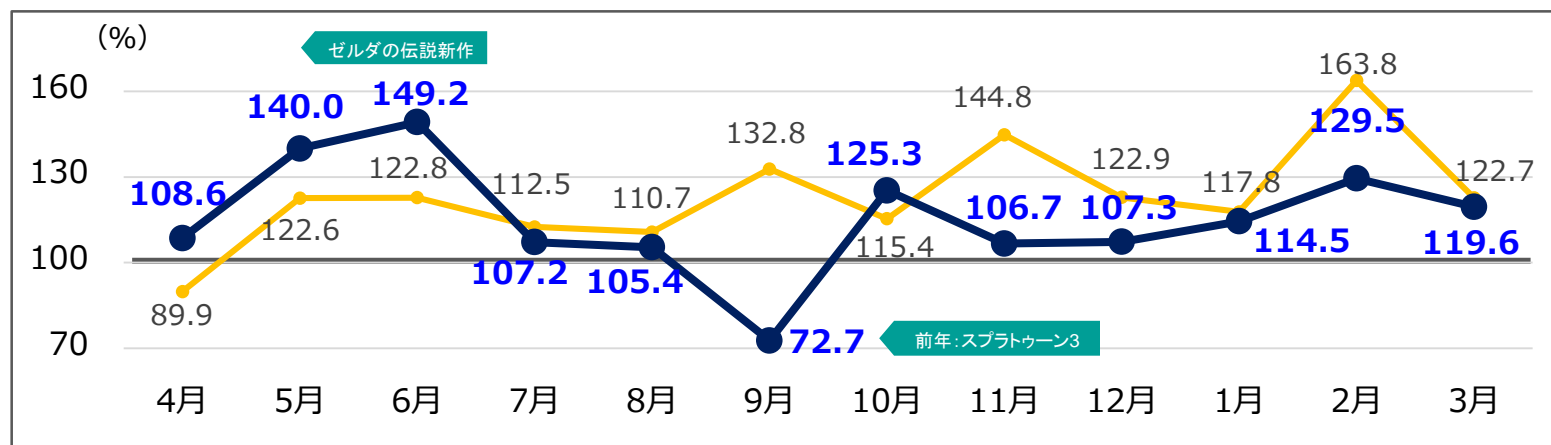
携帯電話 (台数)

年度累計
前年比 107.7
(前々年比 108.9)



(参考) ゲーム・玩具

年度累計
前年比 112.2
(前々年比 123.0)

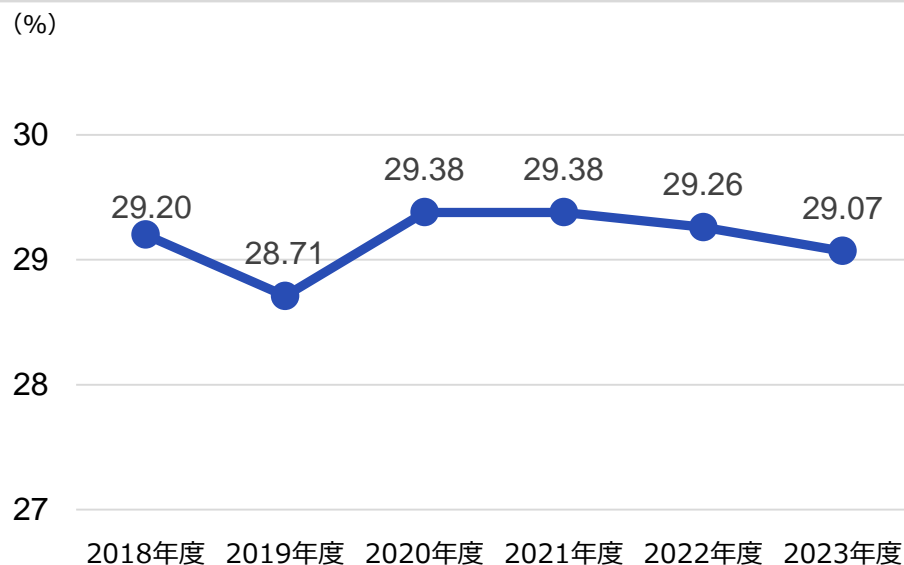


携帯電話 (台数) : 電気通信事業法改正前の駆け込み需要で、12月は台数が大きく伸長

(参考) ゲーム・玩具 : ゲーム機本体・プラモデル・トレーディングカードなど幅広い需要で底堅く推移

売上総利益率・販管費率の状況

1 売上総利益率

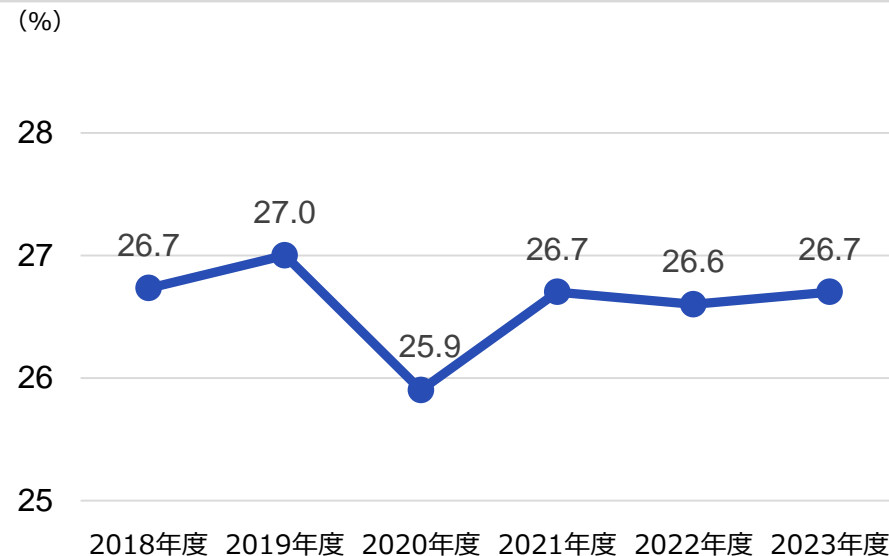


- 売上総利益率 当期実績 29.07% 前期 29.26% 前期差 Δ 0.19%
 - ・第1四半期 30.13% 前期 30.71% Δ 0.58%
 - ・第2四半期 30.29% 前期 30.13% +0.16%
 - ・第3四半期 27.19% 前期 27.94% Δ 0.75%
 - ・第4四半期 28.74% 前期 28.43% +0.31%

(主な要因)

- ① ゲーム・玩具の構成が高かったことによりミックスで Δ 0.11%影響
- ② ①を含みE Cの売上増加により粗利率は0.14%影響
(E C除くと Δ 0.06%とほぼ前年並みの影響)

2 販管費率



- 販売費及び一般管理費

当期合計 1,926億円 前期差 +9.6億円

- 広告宣伝費・販売費 +7.8億円
(宣伝費・景品 Δ 4.3億、倉庫料+2.8億 優待未払+6.0億)
- 人件費 Δ 3.1億円
- 設備費・管理費 +5.7億円
(賃借料 +4.9億、新店消耗品+3.8億、光熱費 Δ 4.2億)
- 減価償却費 Δ 0.8億円

連結貸借対照表および連結キャッシュフロー計算書

■ 連結貸借対照表

(百万円)

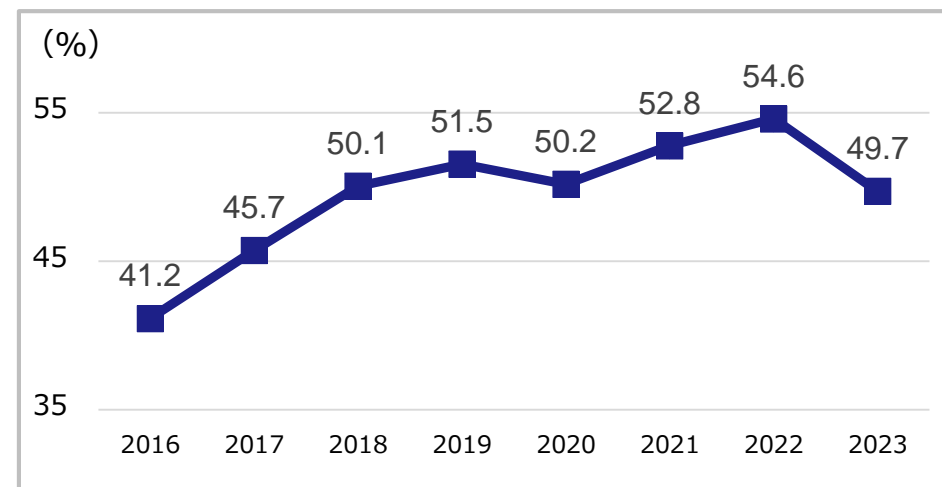
	2023年3月末	2024年3月末	増減
現金及び預金	13,235	12,011	△1,224
商品及び製品	116,061	117,902	1,841
その他	56,442	59,852	3,409
流動資産	185,739	189,766	4,026
有形固定資産	122,126	177,824	55,697
無形固定資産	9,746	10,948	1,202
投資その他の資産	51,753	53,156	1,403
固定資産	183,625	241,928	58,302
資産合計	369,365	431,694	62,329
流動負債	107,841	149,458	41,616
固定負債	59,866	67,314	7,448
負債合計	167,708	216,773	49,064
純資産	201,656	214,921	13,264
負債・純資産合計	369,365	431,694	62,329

■ 連結キャッシュフロー計算書

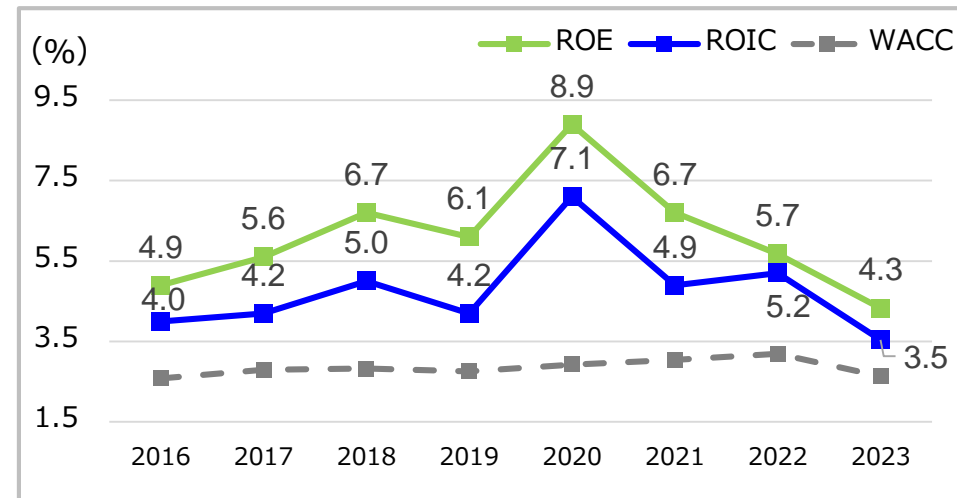
(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期
営業CF	12,139	19,962
投資CF	△8,336	△68,717
FCF	△3,803	△48,755
財務CF	△20,452	47,531
現金及び現金同等物の期末残高	13,235	12,011

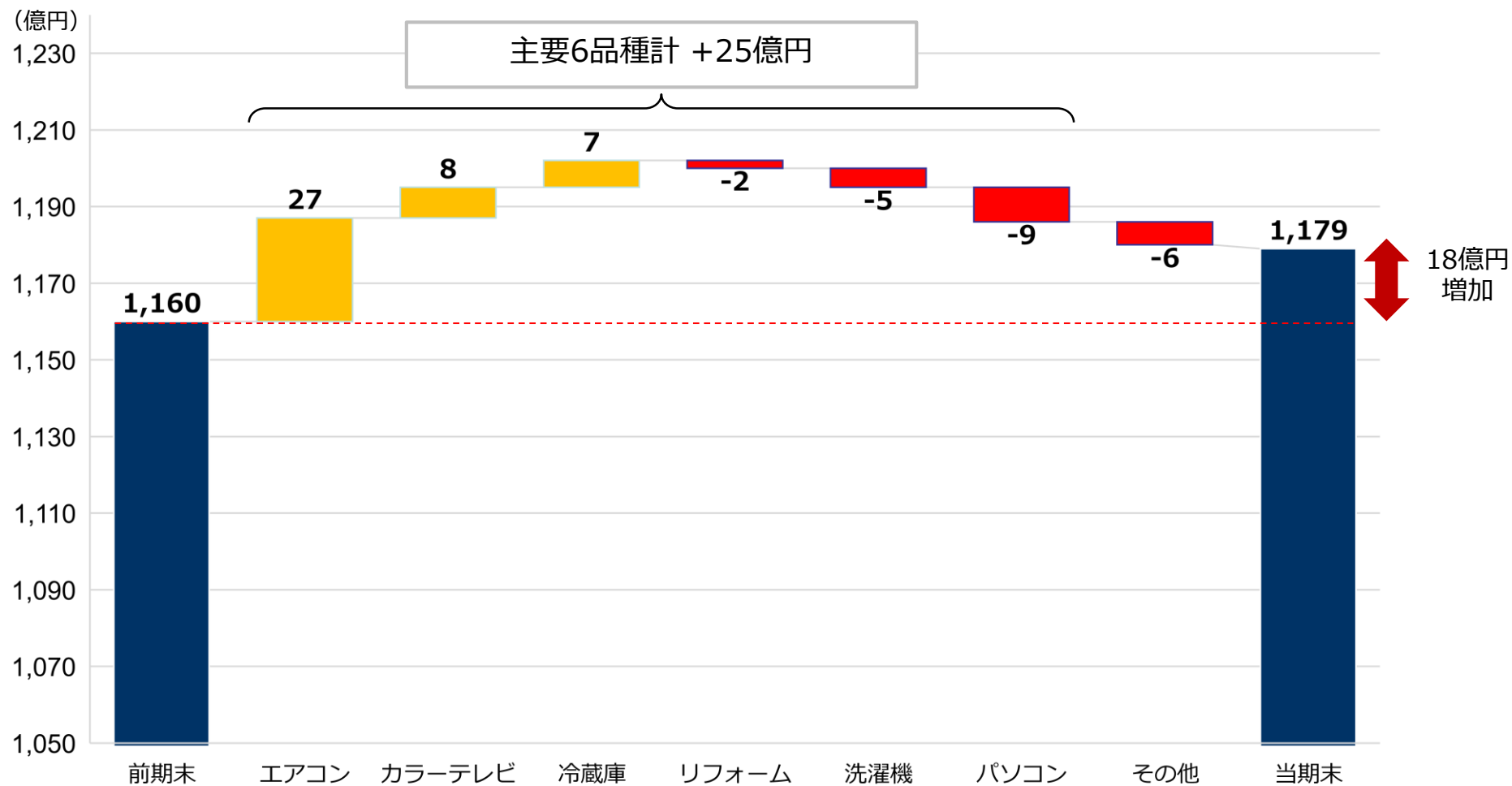
■ 自己資本比率



■ ROE・ROIC・WACC



主要品種在庫状況（前年同期比）



※ 1 億円未満を切り捨て表示しています

2. 2025年3月期 業績予想

百万円・%	上期予想		下期予想		2025年3月期通期予想			
	業績予想	前年比	業績予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	369,000	104.7	381,000	103.4		750,000	104.0	28,914
売上総利益	110,700	103.9	108,100	104.9	29.17	218,800	104.4	9,213
販売管理費	99,900	104.3	99,900	103.1	26.6	199,800	103.7	7,143
広告宣伝費・販売費	24,274	103.7	23,794	101.1	6.4	48,069	102.4	1,123
人件費	40,236	101.9	40,791	103.3	10.8	81,027	102.6	2,046
設備費・管理費	29,888	107.7	29,378	104.2	7.9	59,267	105.9	3,321
減価償却費	5,501	107.8	5,934	104.5	1.5	11,436	106.0	651
営業利益	10,800	100.2	8,200	133.3	2.5	19,000	112.2	2,070
経常利益	11,100	100.4	8,400	133.6	2.6	19,500	112.5	2,160
親会社株主に帰属する当期純利益	7,100	98.4	3,900	216.1	1.5	11,000	121.9	1,978

- 売上高 既存店前年比 上期 100.5% 下期 101.5% 通期 101.0%
- 粗利率 前期同水準で想定 29.17%
- 販売費および一般管理費（主な増加要因）
 - 広告宣伝費・販売費 新店分および売上変動分の増加
 - 人件費 給与ベースアップ
 - 設備費・管理費 水道光熱費の増加、新店家賃等

出店・移転・閉店実績および計画

直営店		新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2024年3月期実績	上期	4店舗	4店舗	4店舗	±0店舗	450店舗
	下期	5店舗	2店舗	1店舗	+4店舗	454店舗
	通期	9店舗	6店舗	5店舗	+4店舗	454店舗
2025年3月期計画	通期	7店舗	1店舗	-	-	-



店舗数（2024年3月末時点）

エディオングループ **1,202** 店舗

■直営店 454店舗 ■フランチャイズ店 748店舗

塔屋看板・外壁塗装 **35**店舗実施予定

ガーデンズ千早東店（福岡県）
2024年4月19日オープン

3. トピックス

監査等委員会設置会社への移行

(2024年6月27日開催予定の第23回定時株主総会の承認を前提)

移行の目的	
変化の激しい経営環境に柔軟に対応し、更なる企業価値の向上を図るためにガバナンスを強化	
ガバナンス強化	取締役会における方針・戦略策定等の重点審議および業務執行に対する監督機能の強化する
意思決定の迅速化	取締役への柔軟な業務執行権限の委任が可能となることで、業務執行における意思決定の機動性・迅速性の向上を図る

移行後の取締役構成	監査等委員である取締役（移行後）構成
<p>取締役 16名 うち社外取締役 8名 社外割合 50%</p>	<p>取締役 4名 うち社外取締役3名</p>

組織再編：代表取締役の変更について

2024年6月27日開催予定の第23回定時株主総会における承認および株主総会後の取締役会における決議をもって、以下のとおり代表取締役の変更を行う予定です。

氏名	新役職名	旧役職名
久保允誉	代表取締役会長執行役員	代表取締役会長兼社長執行役員
山崎徳雄	代表取締役副会長執行役員	取締役副社長執行役員
高橋 浩三	代表取締役社長執行役員	取締役専務執行役員

- 2024年6月27日付役員のパネルは以下のとおりとなる予定です。

代表取締役会長執行役員	久保允誉	CEO	取締役（常勤監査等委員）	山根よしえ
代表取締役副会長執行役員	山崎徳雄		取締役（監査等委員）	福田有希
代表取締役社長執行役員	高橋浩三	COO	取締役（監査等委員）	坂井義清
取締役副社長執行役員	金子悟士	IT戦略本部管掌	取締役（監査等委員）	清水英昭
取締役専務執行役員	浄弘晴義	eコマース本部長		
取締役上席執行役員	石田垂紀	経営企画本部長		
取締役上席執行役員	井上利郎	営業本部長		
取締役	石橋省三			
取締役	高木施文			
取締役	眞弓奈穂子			
取締役	福島淑彦			
取締役	森忠嗣			

angle くらしを、新しい 角度から。

2024年4月26日 発売



New

サーキュレーター

DCモーターで静音※1・省エネ。※2

2024年5月1日 発売



New

押しボタン式扇風機

静電気防止加工羽根で
お手入れ簡単。

■ニトリとの共同開発推進



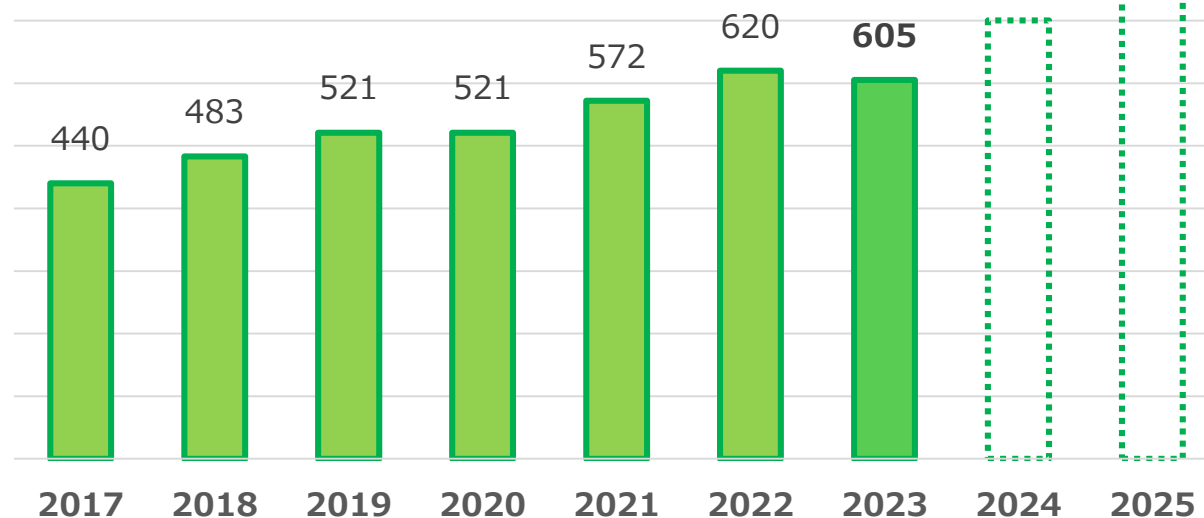
x



売上高の推移 (POS受注ベース)

品質向上とともに
売上規模拡大

(億円)



■ 現調レス対応の拡大

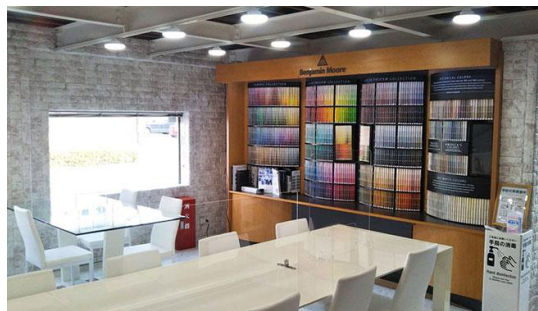


メールやお電話でお見積提出からお申し込みまでできる
新しいサービスです。

工期短縮効率向上

ECからの送客で接点UP

2024年3月1日 M&Aにより株式会社麻布をグループ傘下に



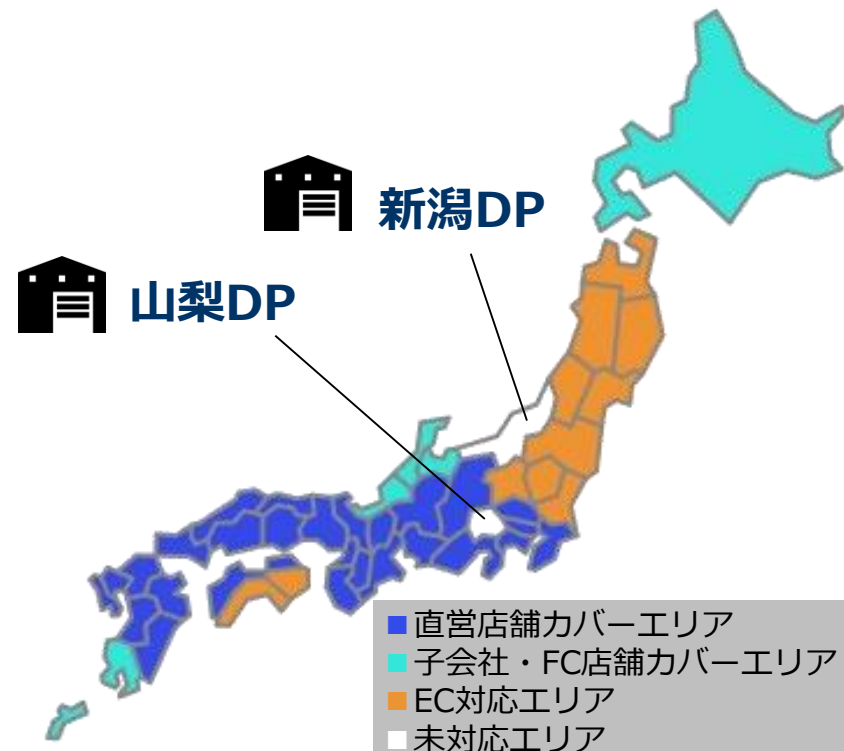
全国38カ所に
営業所を展開



2024年度 全国物流網完成へ

全国でエディオン品質の設置・工事が可能に

2023年10月 仙台サービスセンター開設
2024年度中 山梨デポ、新潟デポ新規開設予定



■ エアコンクリーニングの促進

(2022年度実績)

22万台

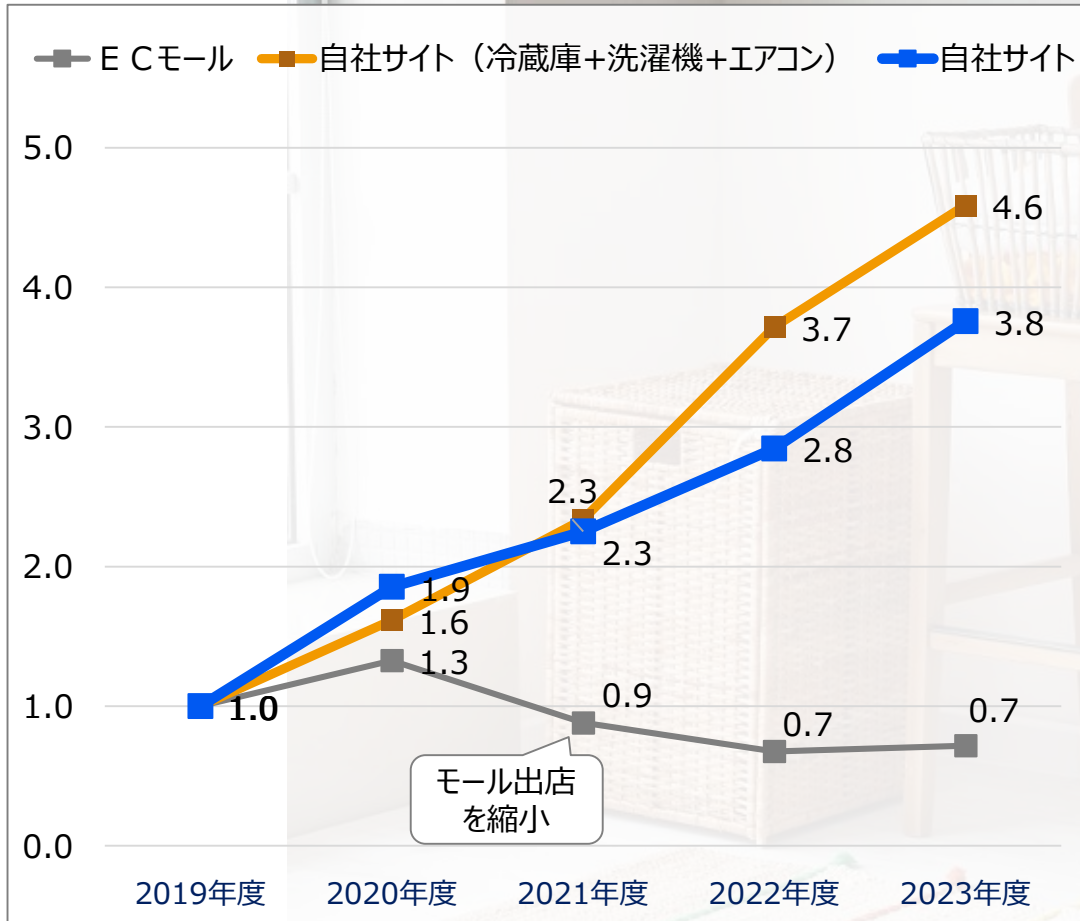


(2023年度実績)

25万台

施工台数日本一の事業者を目指し取り組み強化

2019年度を基準とした場合の成長倍率



品揃えの充実とともにECにおいても設置・工事・配送などのサービスの充実を図ってまいります

全従業員がやりがいをもって働くことが出来る環境づくりに注力しています

制度拡充

ベースアップの実施について（2024年度）

- 平均12,000円のベースアップ(約4.5%)

年間休日の増加（113日→114日）

- 年間113日 → 114日に変更

出産育児目的休暇の増加

- 最大2日間 → 5日間に変更（義務化）

介護短時間勤務期間の延長

- 最長3年間 → 介護の終了まで

雇用延長制度の改定

- 最長70歳まで延長

人材育成

自己研鑽環境の充実

- eラーニング等動画コンテンツの拡充
- エディオンアカデミーの開校

次世代につながる人材育成

- 管理職候補者研修、女性管理職研修

風通しのよい風土づくり

- 店長研修など社長を含め経営幹部との意見交換の場を定期的で開催
- 現場目線での業務改善・課題提案の場を広く設ける



サステナビリティ経営の強化～社会課題の解決にむけて～

取り組み強化

1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



2 健康経営の推進

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。



3 地域社会への支援

一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



4 サステナビリティ推進委員会の設置

当社では、「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいという考えのもと、エディオングループの経営理念に基づいて持続的な成長とすべてのステークホルダーの発展に資するため、サステナビリティに関する取り組みを推進しています。

気候変動に伴うリスクや機会は、事業戦略や財務計画に大きな影響を及ぼすものと認識し、サステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、2022年6月にサステナビリティ推進委員会を発足しました。

■ 配当・株価推移

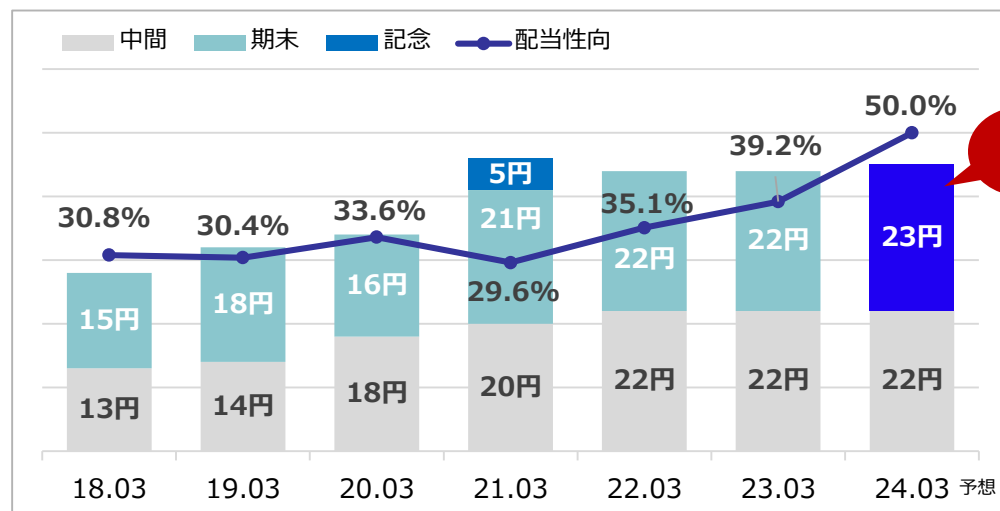
ROIC向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

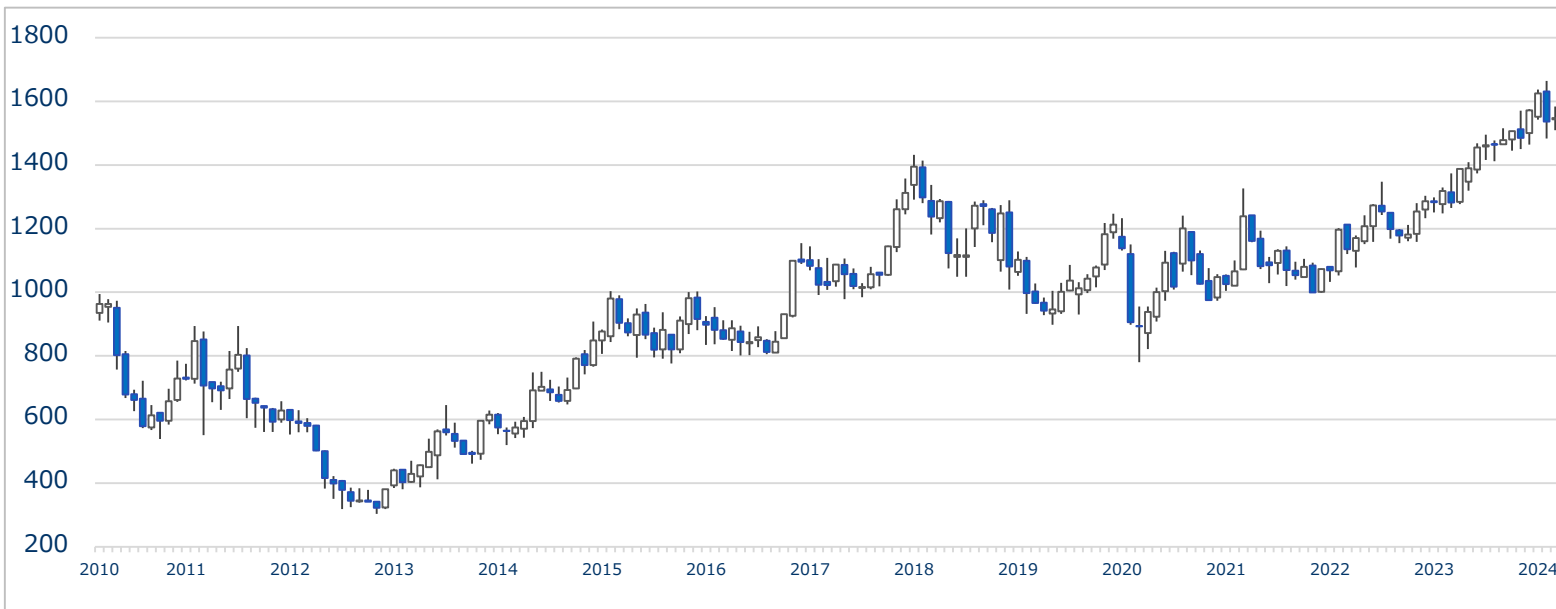
株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



増配



株主優待制度 長期保有特典拡充



2024年6月上旬発送分より

継続保有期間加算額		
1年～2年 未満	2年～3年 未満	3年 以上
1,000円分	2,000円分	3,000円分
2,000円分	3,000円分	4,000円分
2,000円分	3,000円分	4,000円分

注意事項

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われぬようお願いいたします。



2024年5月10日